



JR 取手駅西口壁画完成！

JR 取手駅西口に市内 18 作品目となる壁画が完成しました。

市では、環境美化や市民の皆様幅広く芸術に親んでもらうため、壁画によるまちづくりを推進し、市内各所に壁画を制作しています。今回、JR 取手駅西口線路擁壁に市内 18 作品目の壁画が完成しました。平成 25 年度に開始された JR 取手駅西口壁画事業の最後の作品になります。

【壁画について】

- ・制作期間：令和 3 年 10 月～令和 4 年 3 月（作業日数：約 80 日）
 - ・場所：取手市中央町 2（JR 取手駅西口線路擁壁）
 - ・大きさ：高さ 3.8m～5.9m × 幅約 84m 面積約 330 m²
 - ・委託先：取手市壁画によるまちづくり実行委員会
 - ・作業協力：東京芸術大学生, 院生 30 人 延べ 300 人
- ※コーティング準備, 作業日・・・3 月 25 日, 29 日, 30 日

【原画について】

- ・原画名：取手の街と利根の龍
- ・原画作家：常行 哲弘（つねゆき あきひろ）
生年月日：1993 年 7 月 7 日（28 歳）
所 属：東京芸術大学大学院 美術研究科絵画専攻 壁画第二研究室 修士 1 年
（コンセプト）

取手市のいいところが分かりやすく伝わるものにしたいと思った。市内を流れる利根川を龍に見立て、その背に取手市の名所や生物、そこに暮らす人々の暮らしを描いた。取手市のキャッチコピー「ほどよく絶妙とりで」のように、ほどよく古きものと新しいもの、自然が残っていてどこか懐かしい雰囲気がある取手市らしいものにしようと試みた。

（コメント）

全体が明るく見えるよう色彩には気を遣いました。全体を通して見たときの色のバランスを見ていただきたいです。

・選定方法

東京芸術大学生, 院生から集めた原画 10 点の中から取手市壁画によるまちづくり実行委員会と市で協議し決定した。

・選定理由

季節の移り変わりを取手市の風景や自然でよく表されている。色彩が豊かで暖かみがあり、市民の皆様親しまれるような作品であったため。



(参考) 取手駅西口壁画一覧

④取手の街と利根の龍



①とねがわず

②未来につなぐ小さなキラキラ



③Four seasons of flowers

④取手の街と利根の龍



①H25「とねがわず」 高さ約 2.2m × 幅約 20m 面積約 44 m²

②H29「未来につなぐ小さなキラキラ」 高さ約 2m~3m × 幅約 100m、面積約 250 m²

③H30「Four seasons of flowers」 高さ約 3m~4m × 幅約 70m、面積約 250 m²

④R3「取手の街と利根の龍」 高さ約 3.8m~5.9m × 幅約 84m 面積約 330 m²

取手駅西口全体 (今回の作品を含む) : 高さ約 2m~5.9m × 全長約 274m、面積約 874 m²

問い合わせ先

取手市 政策推進部 文化芸術課 文化振興係

担当者：本郷

電話：0297-74-2141 (内線 1291)

E-mail：art@city.toride.ibaraki.jp